

学習コンテンツ利用の手引き

コンテンツタイトル STOP THE ケータイ依存症

対象学年 中学校

学習のねらい

- ・携帯電話が生活や心身に与える影響を考え、適切な使い方ができる。

学校で指導する場合の学習展開例

	生徒の学習活動とスライドなどの番号	指導上の留意点
導入	○スライド1～19 ・携帯電話の使用に対するアンケートに答える。その中で自分がどれだけ携帯電話に依存しているかを考えさせる。	・今日の学習にねらいについて知らせる。 ・一人一人がアンケートに答えたあとで表示された場面について、全体にアンケートをとり、生徒一人一人の状況を確認する。
展開	○スライド20～23 ・アンケートで答えた1つ1つのスライドについて、問題点を話し合い、携帯電話の使用について適切な使い方を考える。	・1つ1つの事例について問題点をあげ、携帯電話のより良い利用法について話し合い、教師がスクリーン上に話し合いの要点を写す。
まとめ	○スライド24 ・携帯電話は便利であるが、生活や心身に悪影響を与える場合があり、適切な使い方を心がけることや、相手に対して配慮することが大切であることを知る。	・生徒に自分なりのまとめを書かせた上で、多様な意見を出させ、教師が補足説明をし、まとめる。

コンテンツ利用に必要な環境

提示用パソコン、パワーポイント、スクリーン

学習コンテンツの解説

・ねらい

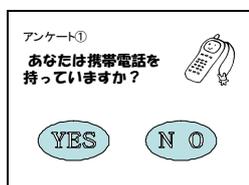
携帯電話が普及し、従来では考えられないくらい便利に、頻繁にコミュニケーションが取れるようにしてくれる道具となった反面、想定していなかったコミュニケーショントラブルも発生している。また、ケータイを持っていないと不安になるケータイ依存症と言うべき事態が進行している。

そこで生徒には、携帯電話が生活や心身に与える影響を考え、適切な使い方を心がける態度を育てたい。



スライド 1

- 本時の学習について知らせる。



スライド 2～16

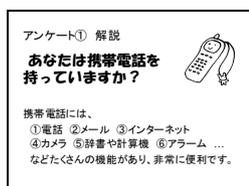
- アンケートに答える。
- YES または NO をクリックすると、次の質問が表示される。



スライド17～19

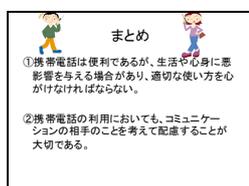
- アンケートの回答によって、アンケート結果が表示される。

※生徒用はここまで



スライド20～23

- 1つ1つの事例について問題点を話し合う。
- スライド20では、携帯電話の良い点について話し合う。
- スライド21～23では、携帯電話のより良い利用法について、考え、問題点を出し合う。



スライド24 (まとめ)

- 携帯電話は便利であるが、生活や心身に悪影響を与える場合があり、適切な使い方を心がけなければならない。
- 携帯電話の利用においても、コミュニケーションの相手のことを考えて配慮することが大切である。